

平成29年第2回3月定例会

平成29年第2回3月定例会は、3月7日に開会し、会期21日間をもって3月27日に閉会しました。この間、市長提出の議案55件を審議し、定例会最終日の3月27日には、議案などの採決を行いました。

3月定例会では、3月13日から3月15日までの3日間、3会派の代表者が代表質問を、議員12名が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に項目を整理し、2ページから9ページにかけて掲載しています。

自民クラブ

坪井 剛 議員

(代表質問)

- 1 平成29年度に向けての市長の所信について
- 2 「基金」に関する基本的な考えについて

市長公約実現に

向けた方策は？

問 市長は、就任以降、積極的に市外・県外に出かけ、シティブロモーションなど、さまざまな活動を行っているが、市長選挙の際、掲げた5つの公約実現に向け、今後、どのように取り組んでいくのか。

答 市民ファーストをスローガンに「ワクワク度日本一の西条」の実現を目指し、5つの基本政策を公約に掲げており、まず、優先的に取り組む3項目について、平成28年度12月補正予算に計上



「ワクワク度日本一の西条」の実現を目指して

している。

1 点目は、「市民主役の西条」の実現を目指し、地域住民が主体的に課題解決に取り組む自治組織のしくみづくりの研究であり、平成29年度はその基盤づくりに向け、市民との協働のまちづくりを推進していくこととしている。

2 点目は、さまざまな見地から柔軟な発想で政策立案を効果的に進めていく自治体シンクタンク設置に向けた研究であり、平成29年度にシンクタンク機能を備えた部署を設置し、地域特性を生かした魅力あふれる西条の実現を目指すこととしている。

3 点目は、「つながり広が

る西条」の実現を目指した取組であり、市民一人一人が主役となり本市の魅力を生かすに発信できるようなネットワークづくりや、トップセールスを行うために、シティブロモーションを検討している。

また、「住みたい西条」の実現を目指し、平成29年度の新規事業として、がん対策推進のため、ヘリコバクター・ピロリ感染検査を実施し、市民の健康増進に取り組んでいくほか、山間部交通不便地域の75歳以上の高齢者に対してタクシー利用助成実証事業を開始することによって、誰もが住みたくなるまちの実現を目指すこととしている。

更に、「夢が持てるまち西条」の実現を目指し、農林水産業のブランド確立による高収益化を図るため、絹かわなすなどの地域特産品の生産力を強化するとともに、CLTを含めた地元1次産品の販路拡大に取り組んでいきたい。また、UIJターンを促進するため、平成29年11月から、新居浜市と連携した就職情報ポータルサイトを運営し、求人情報を発信することにより、

人材確保を図るなど、地元企業を力強く支援することとしている。

なお、予算化できていない公約については、シンクタンクなどを活用しながら、調査・研究を行い、全ては市民のためと肝に銘じて「ワクワク度日本一の西条」を目指し、施策の具現化に向け、全力で取り組んでいきたい。



基金をどう活用する！

将来的な財政運営に

問 合併振興基金は、新市建設計画に盛り込まれている基金の積み立てであるが、基金を設ける目的、基金総額と財源、具体的な使途に関する方針などについて、どのように考えているのか。

また、庁舎整備基金が廃止されるが、今後、公共施設の経年劣化が進むことから、将来的な公共施設の維持管理や補修などに備えた基金の原資にするべきではないか。